

みなと外国人コミュニティ パートナー制度について

港区役所地域力推進室

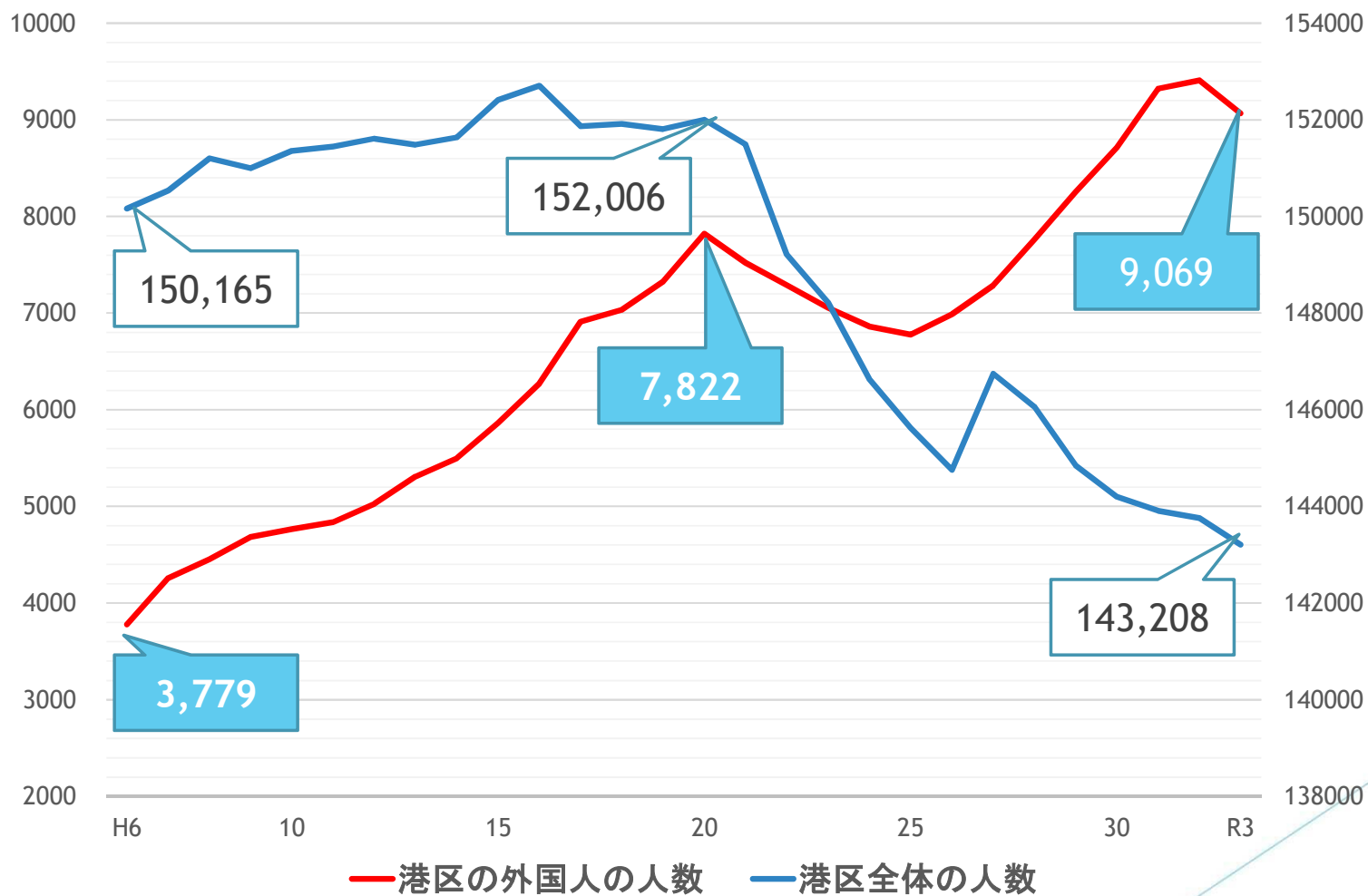
2023年1月16日（月曜日）

港区の特徴

港区に住んでいる外国人の人数・出身国など



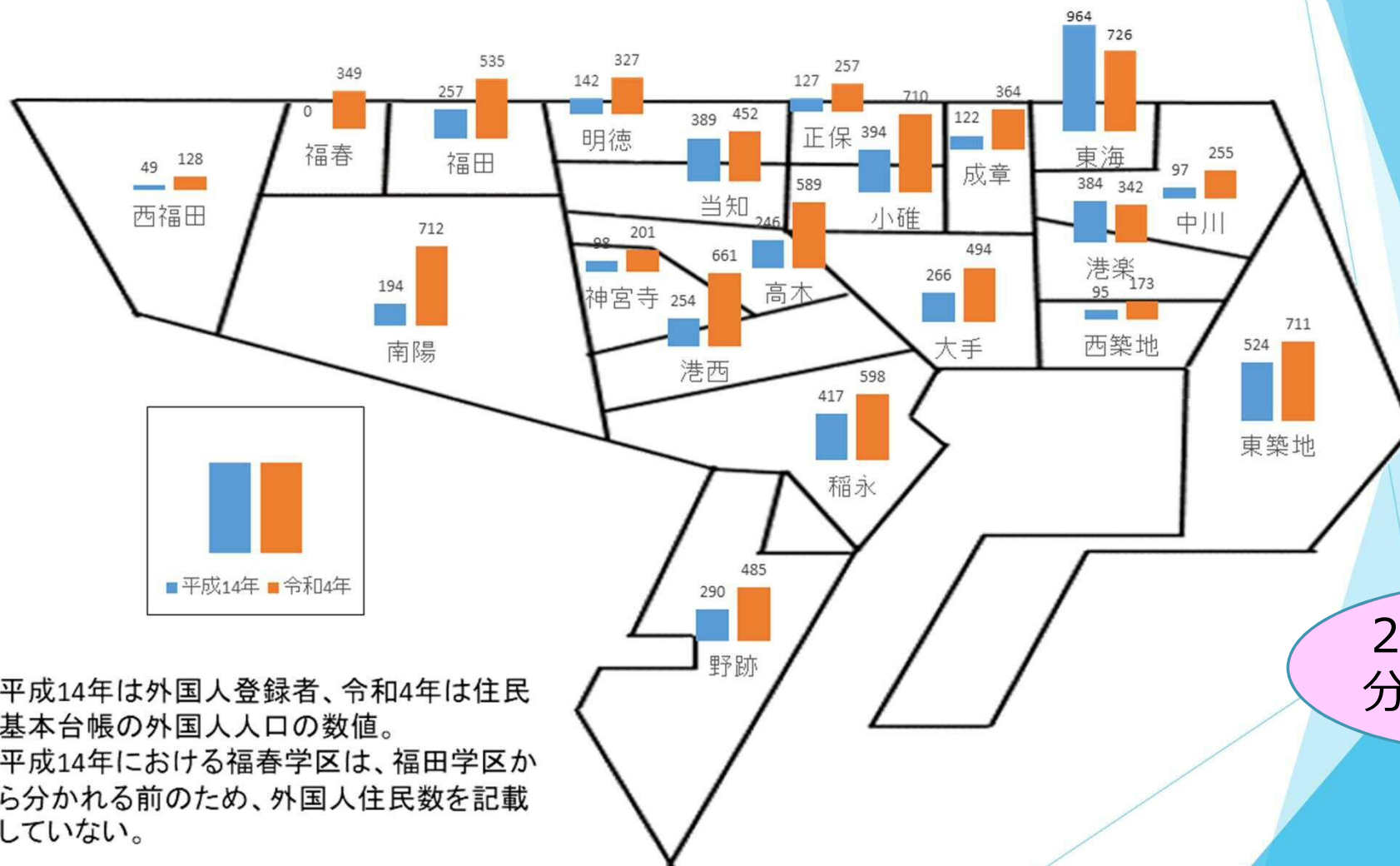
港区の特徴①：「外国人住民の増加」



外国人居住者
16区中
1位

約16人に一人は
外国人住民！

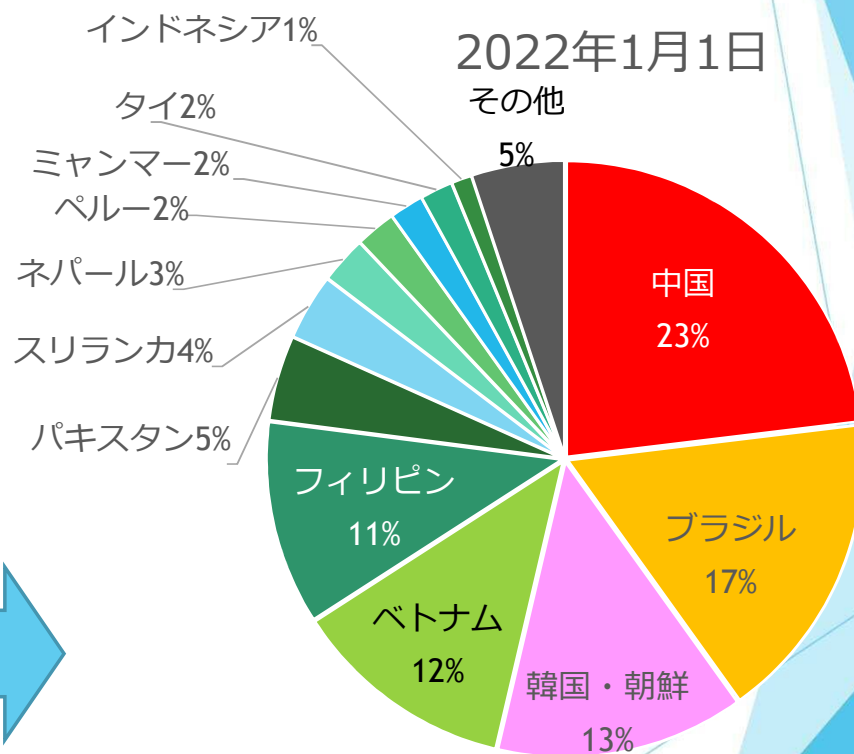
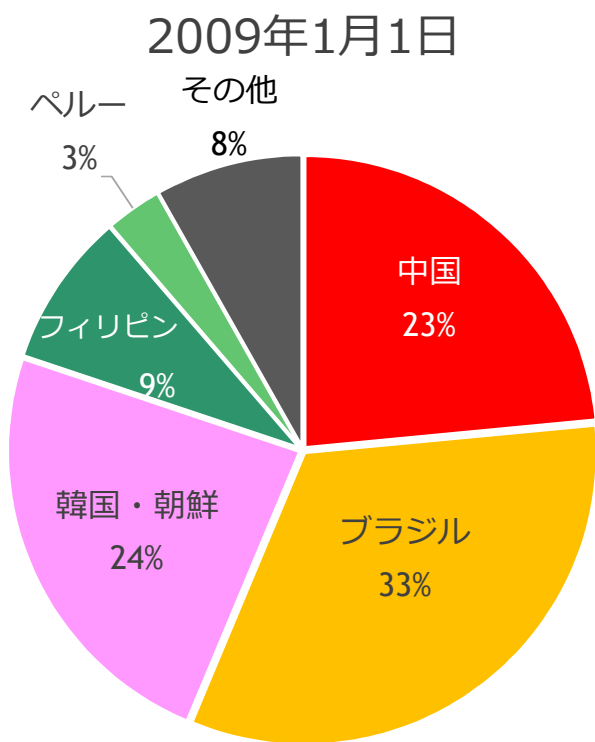
港区の特徴②：「外国人住民の散住化」



20学区に分散して居住

- 平成14年は外国人登録者、令和4年は住民基本台帳の外国人人口の数値。
- 平成14年における福春学区は、福田学区から分かれる前のため、外国人住民数を記載していない。

港区の特徴③：「外国人住民の多国籍化」



約65か国

港区の特徴④：「長く住んでいる外国人が多い」

子育てをする外国人住民の増加



2022年1月1日	18歳以下の 外国人の人数
港区	1,576人 (1位)
南区	917人 (2位)
名古屋市	9,742人 (-位)

港区(年間)

新生児 約1,000人

外国人の新生児

約100人(10%)

港区役所の取り組み

外国人と日本人のつながりづくり



○港区の今までの取組み

長く住む外国人が多い

外国人住民が地域コミュニティの一員になってもらえるような施策を推進



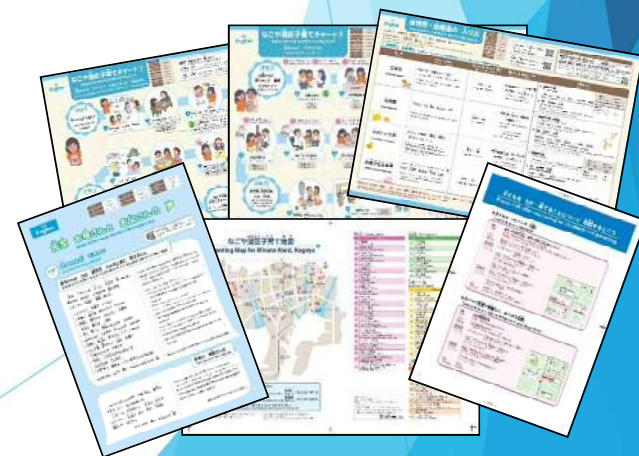
令和元年度
地震と津波

地震、津波の対策をきっかけに
外国人住民と
地域が話せるように

令和2年度
なごや港区子育てチャート
子育てを通して
外国人住民が
行政・地域となじめるように

パンフ作成等の際に
意見を聞き取るための
「外国人協力者」制度

- ・各学区からの紹介
- ・約20名



○港区の今までの取組み

外国人に日本語の大切さを知ってもらう

令和3年度

- ・使おう！日本語
～生活をするとき～
- ・使おう！日本語
～子どもを育てるときなど～

日本語を覚えることのメリットを紹介するパンフレット

⇒地域において日本語でのコミュニケーションができるように

This pamphlet is titled "Let's Use Japanese! -Daily Life-". It features a blue header with the word "English" in a blue circle and "使おう!日本語" in large characters. Below the title is a yellow banner with the Japanese text "～生活をするとき～". The main body contains two illustrations: one of two women shopping with bags, and another of a man kneeling to help a child. Text in both English and Japanese explains that learning Japanese is helpful for daily life and when needing assistance. At the bottom, it asks "Would you like to study Japanese?" and provides contact information for the Japanese Language Center in Minato City.

This pamphlet is titled "Let's Use Japanese! -Raising Children, Etc.-". It features a blue header with the word "English" in a blue circle and "使おう!日本語" in large characters. Below the title is a yellow banner with the Japanese text "～子どもを育てるときなど～". The main body contains an illustration of a family (mother, father, and two children) standing in front of a house. Text in both English and Japanese explains that speaking Japanese is helpful when raising children. At the bottom, it asks "Would you like to study Japanese?" and provides contact information for the Japanese Language Center in Minato City.

○港区の今までの取組み

日本人に「やさしい日本語」を使ってもらう

令和3年度

みんなで使おう！やさしい日本語

外国人と日本語でコミュニケーションをとるときのポイントを紹介

⇒地域において「やさしい日本語」でのコミュニケーションができるように

みんなが「やさしい日本語」を
使って話をする港区へ

みんなで使おう!
やさしい日本語

港区は、近年外国人住民が増加しています。
外国人と接する機会が増えた人や、近所に外国人が引越してきた人もいます。
外国人とコミュニケーションをとるときに、うまく話が通じず困ったことはありませんか？
そんな時は「やさしい日本語」を使ってみましょう！

「やさしい日本語」とは…

「やさしい日本語」は、難しい言葉を言い換えるなど、相手に配慮したわかりやすい日本語のことです。

作成: 2022年2月 発行: 港区地域力推進室 (電話番号) 052-654-9621 (FAX番号) 052-651-6179
月曜日から金曜日 (祝休日・年末年始を除く) 午前9時45分から午後5時15分まで

外国人の日本語について

このパンフレットは、右の二次元コードからダウンロードできます。

この冊子は、港区に在住する外国人を主な対象読者として、港区が実施している外国人に対する日本語学習支援事業の一環として、外国人にわかりやすい日本語で、外国人の日本語学習を支援することを目的として作成されています。

港区国際化推進室

港区の課題

外国人住民の地域コミュニティへの参画への障壁



○港区の課題

外国人住民が地域コミュニティの一員に十分になっていないと言えない

▶ なぜ地域コミュニティの一員になっていないのか

外国人住民は

町内会のことをよく知らない

地域の活動に対してニーズを伝えたり、関与したりすることが難しい



地域と行政が
補完しつつ行う活動

地域の役員と話せない
と関わりづらい

町内会のことわかり、地域の役員と話すことができる
外国人住民を増やしていく必要

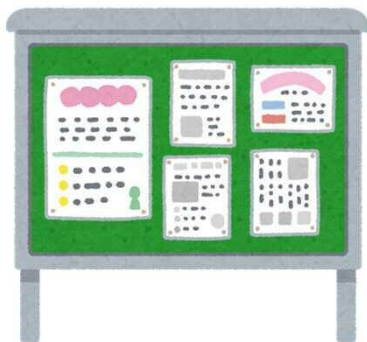
○港区の課題

外国人住民が地域コミュニティの一員に十分になっていない

▶ なぜ地域コミュニティの一員になっていないのか

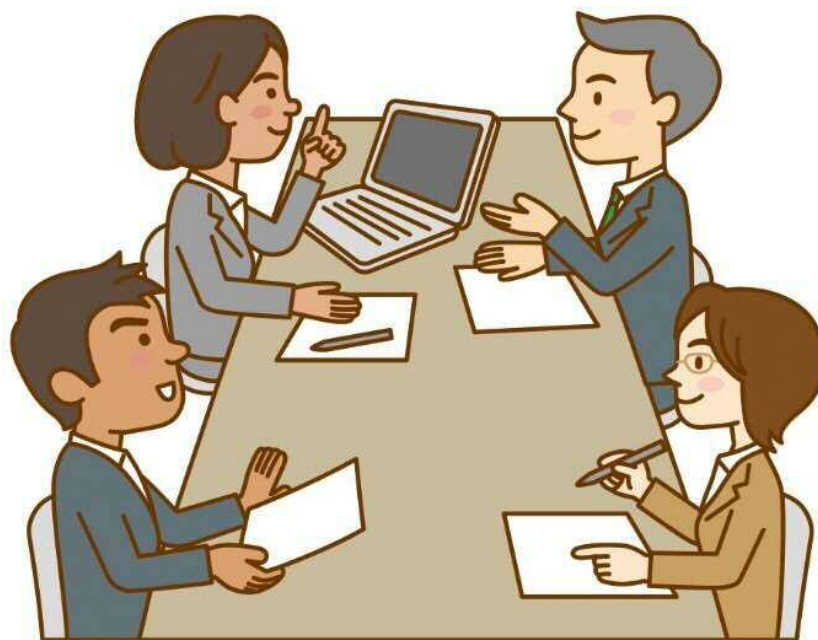
外国人住民は

地域の活動に関する情報の入手が難しい



地域に関する活動に関する情報を入手しやすくする必要

みなと外国人 コミュニティパートナーの役割



外国人住民と地域をつなぐ

「みなと外国人コミュニティパートナー」制度

① 「みなと外国人コミュニティパートナー制度」とは

- ▶ 外国人住民と地域、行政等を結ぶ橋渡し役
- ▶ 名古屋市の地域コミュニティ制度や港区の外国人住民を取り巻く現状等についての研修



② 地域の役員とみなと外国人コミュニティパートナーの話し合う場の創設

- ▶ コミュニティパートナーと地域の役員でニーズや課題意識を共有
- ▶ 改善に向けた話し合い
 - ・ 外国人住民の目線から、地域活動に関するニーズ・改善案
 - ・ 外国人住民としての知識・経験を、地域活動に反映



外国人住民が参加しやすい地域活動へ改善を図る
外国人住民へ情報を伝える際のポイントを共有する



**外国人住民を
地域コミュニティの力に**